

第6学年1組外国語活動学習指導案

平成26年10月16日(木) 第4校時

活動場所 三階多目的室

在籍児童数 40名

指導者 教諭 猪俣 絵美

ALT Patei Tezuka

1 単元名 「休日の生活を紹介しよう」 What time is it?

2 単元について

本単元で児童は、時刻を表す表現や生活を表す表現について知り、自分の一日の生活を時刻に合わせて紹介したり、友達の生活を聞き取ったりしながら、時刻や生活を表す表現に慣れ親しむ。学校にいる間は、同じ時間の流れで生活しているが、学校にいる以外の時間をどのように過ごしているのかを互いに紹介したり、尋ねたりしながら、友達の新しい一面を発見するなどコミュニケーションの楽しさを味わわせる。第2時では、児童に興味のある教師の一日を取り上げることによって、積極的に話したり、聞いたりする活動を多く取り入れる。また、第3時では、世界に目を向けて日本が8時の時に、各都市では何時かを知り、日本と世界の様々な都市との間には時差があることに気付かせ、世界はつながっていることを感じさせる。第4時では、時刻を扱う絵本「What's the time, Mr. Wolf?」を読み聞かせし、時刻を表す表現を十分に聞かせていく。その後、物語を参考に自分の休日の生活を紹介する。平日とは違う時間帯で生活している休日の生活を紹介させることで伝えようとする意欲が高まるのではないかと考える。また、聞き手にも友達との共通点や相違点に気づかせていくことで、さらに相手を知りたいという思いをもち、今後の豊かなコミュニケーションにつながることを期待したい。

3 児童の実態について

以下のアンケート結果は、本学年が第5学年(平成25年5月実施)で行ったものと第6学年(平成26年5月実施)で行ったものの比較である。

外国語活動が楽しい・どちらかというとなりに答えた児童の理由	H25	H26
英語の歌を歌ったり、英語でゲームしたりすることが楽しいから	93%	84.5%
外国の言葉や文化を知ることが楽しいから	36.8%	45.7%
身近なことを英語で言うことが楽しいから	36%	44%
外国の人と話をしたり、交流したりすることが楽しいから	15.8%	35.3%
授業の雰囲気明るくて、楽しいから	46.5%	57.8%

○外国語活動があまり楽しくない・楽しくないに答えた児童の理由	H25	H26
英語を使ってやりとりするのが難しいから	0%	2.6%
英語の絵本や物語を見たり、聞いたりするのがおもしろくないから	0%	1.7%
英語の歌を歌ったり、ゲームをしたりすることがおもしろくないから	0%	1.7%

全体的に外国語活動への関心は高い。5年生では、英語の歌やゲームに、6年生では、実際に外国の人と交流することや身近な英語が言えるようになることに楽しさを感じていることが分かる。また、楽しくない理由に英語での歌やゲーム、英語での交流が挙げられていることが課題である。本学級でも、グループ学習やペア学習に協力して取り組んだり、外国と日本の比較などについては興味をもって聞いたりするが、英語での歌に照れを感じたり、英語を伝えることに苦手意識をもっている児童もいる。よく聞かせること、知的好奇心をくすぐるようなアクティビティー、“聞きたい”“言いたい”と思わせるような場面設定を心がけ、言葉を大事にしなが、物怖じしないで、自分の思いを伝えようとする力を養う。

4 単元の目標

一日の生活についての時刻を尋ねる表現に慣れ親しみ、自他の一日を紹介したり、聞き取ったりしようとする。また、世界には時差があることに気づき、世界の様子に興味をもつ。

5 学習指導案を作成する上でのテーマ

「言語活動の充実～一人一人が伝えたいと思う場の設定の工夫～」

6 指導と評価の計画

時	目 標	評 価			評価方法	
		コ	慣	気		評価規準
1	時刻の言い方について知る。			○	時刻の言い方について知り、日本語と英語の言い方の違いに気づいている。	行動観察 振り返りカード
2	生活を表す表現について知る。		○		時刻と生活を表す表現を言ったり、聞いたりしている。	行動観察 振り返りカード
3	世界の時刻について知り、生活を表す表現や時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。		○	○	外国と日本では、時差があることに気づいている。 時刻と生活を表す表現を言ったり、聞いたりしている。	行動観察 振り返りカード
4	物語を参考に自分の休日の生活について紹介する。	○			物語を参考に自分の休日の生活について友達に紹介している。	行動観察 振り返りカード

7 本時について

(1) 本時の目標

物語を参考に自分の休日の生活について紹介する。

(2) 展開

活動内容	児童の活動	指導者の活動		○指導上の留意点 ◆評価の観点と方法 ◎教材・機器
		T 1	T 2	
1 あいさつ	<p>児 : Good morning, Ms. Patei. A : Good morning, everyone. How are you today? 児 : I'm fine thank you, and you? A : I'm fine, too.</p>			○これから授業が始まることを意識させる。
2 英語の歌	英語の歌を歌う。「Let It Go」			○歌えそうなところを歌うように伝える。
3 チャンツ	「マラソンじゃなくて marathon」			○リズムに合わせて、楽しく取り組ませる。 ◎チャンツ画像
4 絵本の読み聞かせをする。	<p>What's the time, Mr. Wolf? It's seven o'clock. Time to get up! I'm so hungry. What's the time, Mr. Wolf? It's eight o'clock. Time for breakfast! I'm still hungry. What's the time, Mr. Wolf? It's nine o'clock. Time to brush my sharp, sharp teeth! What's the time, Mr. Wolf? It's ten o'clock. Time to get dressed! Look at me, I must eat more! What's the time, Mr. Wolf? It's eleven o'clock. Time for play school! I'll pick you up for lunch. Yum, yum! What's the time, Mr. Wolf? It's twelve o'clock! Time for lunch! But I'm still very, very hungry! What's the time, Mr. Wolf? It's one o'clock. Time for a nap! Sweet dreams! What's the time, Mr. Wolf? It's two o'clock. Time to read a book! What's the time, Mr. Wolf? It's three o'clock. Time to clean the dining-room! What's the time, Mr. Wolf? It's four o'clock. Time to fetch the table. What's the time, Mr. Wolf? It's five o'clock. Time to set the table. What's the time, Mr. Wolf? It's DINNER TIME!</p>			○指導者は、感情を込めながら読み聞かせる。 ○意味の分かりにくい表現は、補足説明しながら進める。 ○すでに学習している時刻を表す表現や、生活を表す表現は、児童にどのような意味なのか投げかけながら進める。

<p>5 リスニング アンドムー ブメントゲ ームをする。</p>	<p>“時刻を表す表現”と“生 活を表す表現”を同時に聞 いて、時刻の人数で集ま り、生活を表す表現に合っ たジェスチャーをする。</p>	<p>活動の内容を 日本語で補足 し、活動がス ムーズに進む ようにする。</p>	<p>英語でルール を説明する。</p>	<p>○ALT に英語で説明して もらうが、進め方が分か らない児童には、日本語 で説明し、意欲を高め る。 ○担任は、全員が積極的に 参加できるように相手 を探しているもの同士、 引き合わせたり、一緒に 参加したりする。</p>
<p>A: What time is it? Mr. Wolf? (クラス全員で) B: It's five o'clock. (ALT) Time to get up! ※ALT のセリフを聞いたら動き出す。 ※時間や動作を表す表現を変えながら何度か行う。</p>				
<p>6 物語を参考 に自分の休 日について 伝える内容 を考える。</p>	<p>自分の休日の生活につい て伝えたい時刻と内容を 決める。</p>	<p>机間指導しな がら、何を書 くかアドバイ スする。</p>	<p>児童のよいと ころをほめた り、児童の質 問に答えたり する。</p>	<p>○休日の中の自分の好き な時間や友達に伝えたい 内容を選ぶよう指示 する。</p>
<p>7 ペアで伝え る練習をし、 発表する。</p>		<p>ALT とデモン ストレーショ ンを行い、活 動のイメージ をもたせる。</p>	<p>デモンストレ ーションをし ながら発音の モデルを示す。</p>	<p>○心を込めてはっきりと 伝えるよう指示する。 ◆物語を参考に、自分の休 日の生活について紹介 している。 (行動観察・振り返りカー ド点検)</p>
<p>※発表の際は、児童全員で尋ねる。 全: What time is it? A : It's ten o'clock! Time to eat breakfast. 全: What time is it? B : It's five o'clock! Time to play soccer. 全: What time is it? C : It's eight o'clock! Time to go to bed.</p>				
<p>8 自己評価 振り返り</p>	<p>振り返りカードで今日の 活動について自己評価す る。</p>	<p>児童の相手意識をもって英語 を使おうとする態度面につい てよかった点を話す。</p>		<p>○次時の意欲につながる よう具体的によくでき たところをほめる。</p>
<p>9 あいさつ</p>				<p>○心を込めてあいさつさ せる。</p>
<p>児 : Thank you very much. Ms. Patei. A : Thank you very much. See you next week! 児 : See you!</p>				